

# 川原寺跡(奈良県高市郡明日香村)

かわらでら

ここが川原寺跡/正面に手前から南大門跡、中門跡の礎石・基壇があり、その向こうには弘福寺(ぐふくじ)が建つ中金堂跡と続く



寺域の左手を見る



寺域の右手を見る





説明板がある





中金堂の手前左手に西金堂、右手に塔があり、そららを囲むように中門から中金堂へ回廊がつながっていたという

し せき かわ ら であと  
史跡 川原寺跡

Historical Site Kawaradera Temple



川原寺 復原図（南から）

川原寺は、法名を弘福寺ともいわれている。その創建年代については不明であるが、『日本書紀』天武天皇2年3月の条に川原寺で経を写すという記事があることや、伽藍配置や瓦の文様が天智天皇に関連する大津宮の南滋賀廃寺や太宰府の観世音寺と類似することから、天智天皇の時代（662～671）に斉明天皇の冥福を祈って建てられたものと考えられる。

昭和32・33年の発掘調査の結果、中金堂（現弘福寺の場所）の前には、東に塔、西に西金堂が建ち、中門からでた回廊がこれらを囲むようにして中金堂へとつながっていることが判明した。また、中金堂の北には講堂があり、これを取り囲むように僧房が3面にある。川原寺で使われていた複弁八弁蓮華文軒丸瓦は川原寺式軒瓦と呼ばれ、天武天皇の時代には近畿・東海地域の古代寺院に多くみられ、壬申の乱で功績のあった氏族の寺院と関係のあったものと考えられている。

現在では弘福寺境内にある瑪瑙（白大理石）の礎石と公園内の建物復元基壇が当時を忍ばせている。

Kawaradera Temple is also known as Gufukuji Temple. The date of its construction is unknown, but according to the *Chronicles of Japan* for the third month of 674, sutras were copied at Kawaradera Temple. Also, the layout of the temple complex and the pattern of the roofing tiles are similar to those of Minamishiga Haiji Temple in Ohtsunomiya and Kanzeonji Temple in Dazaifu, both connected to Emperor Tenji. Accordingly, the temple is believed to have been built to pray for the repose of the Empress Saimei during the time of Emperor Tenji (662-671).

During the excavations of 1957 and 1958, it was learned that in front of the middle golden hall (at the location of the present Gufukuji Temple) to the east was a stupa and to the west the western golden hall, and from the middle gate a cloister surrounded all the buildings connecting with the middle golden hall. North of the middle golden hall was the lecture hall, with



川原寺は、飛鳥寺、大官大寺とともに飛鳥三大寺として、下って薬師寺を加えて飛鳥四大寺に数えられ、朝廷に重用されてきた大寺であるという



伽藍配置図

奈良県高市郡明日香村川原にある当寺 川原寺(弘福寺)は 齊明天皇の川原宮(655AD)のあとに営まれた寺であります。現在のこの位置(本堂)の周辺に有名な瑠璃(めのう)の礎石が遺っていることなどから 大正10年に史蹟に指定されています。昭和32.33年にわたる奈良国立文化財研究所の発掘調査によって 旧伽藍が確認されました。

方2町をこえる地に 中金堂(現本堂)を中心として その東南に塔 西南に西金堂 があり 中門 回廊 さらに北に講堂 三面僧房 などが整然と配置されたさまは まさに白鳳時代の宮の大寺としての盛観をしのばせてくれます。また この調査で寺の創建以前に暗渠を設けた大きな工事がおこなわれたことがわかりましたが これこそ川原宮の遺構でありましょう。

9世紀になって当寺は真言宗とむすばれ 弘法大師が朝廷よりたまり 今日まで「弘法大師ゆかりの寺」として その伝統たえることなくつづいています。いづれにしても永く栄えた寺であります。創建の伽藍は建久2年(1191AD)に罹災して以後は中央部の諸堂のみ復興しましたが これも16世紀ごろに再び罹災して 今は当建物が残るのみであります。

住職 合掌

# 川原寺 (弘福寺)



寺域の手前の左端にあったさまざまな石造物





そこから寺域を見る/南西側から北東方向を見たところ



さて、手前が南大門跡、その向こうが中門跡の基壇で、その左前方に西金堂跡、右前方には塔跡の基壇が見える





南大門跡/東側から西方向に見る



中門跡から正面に弘福寺が建つ中金堂跡を見る/左手に西金堂跡、右手に塔跡の基壇がある





これは中門跡から右手に塔跡へとつながる回廊跡を見たところ



回廊跡を南東側から北西方向に見たところ/左手が中門跡の基壇





回廊跡を東側から西方向に見たところ/前方に中門跡の基壇がある



そこから北方向を見たところ/少しいった所に僧坊跡の礎石も見える





正面が北方向(右手)に向かって延びる東廻廊跡と僧坊跡/寺域更に北方向へ伸びている/左手にある中金堂跡の裏側になる北側には左側に鐘楼、右側に経蔵が並び建ち、その更に北側には講堂があったという





さて、これは南西側から北東方向を見たところで回廊跡が手前で折れている





そこから東方向に回廊跡をみたところ/前方に中門跡がある





これは塔跡の基壇/西方向を向いている





塔跡の基壇上から西方向を見る/前方に西金堂跡が見える





塔跡の基壇上の礎石





前方は西金堂跡の土壇/西金堂は南面せず、東側(塔の方向)を正面としていたという





塔跡の基壇上から北方向を見たところ/基壇上に標柱が立っている/正面前方に見える僅かな高まりの部分が経蔵跡のようだ





標柱には「弘福寺塔跡」と記されている





これは東側から西方向を見たところ/前方は塔跡の基壇/手前は回廊跡





さて、これは西側から東方向を見たところで、正面前方に塔跡の基壇が見える



これは中金堂跡へつながる回廊跡を西側から東方向へ見たところ





そこから南東方向を見たところ/右手遠方に見える寺院は橘寺



北側から南方向へ西回廊跡を見る/左手は西金堂跡の土壇/左手遠方は橘寺





中金堂跡に建つ弘福寺/江戸時代中期の建物/左手の標柱には「史蹟 川原寺址」とある



その境内の建物の一つ





参考ホームページ

<http://www9.plala.or.jp/kinomuku/kawaradera.htm>

<http://gpeach.nobody.jp/tera/kawahara/kawahara.html>

[http://www.bell.jp/pancho/travel/asuka-ji/kawaharadera\\_ato.htm](http://www.bell.jp/pancho/travel/asuka-ji/kawaharadera_ato.htm)

<http://www.asuka-tobira.com/owari/kawahara.htm>

<http://www.bell.jp/pancho/asuka-sansaku/kawahara-dera.htm>

